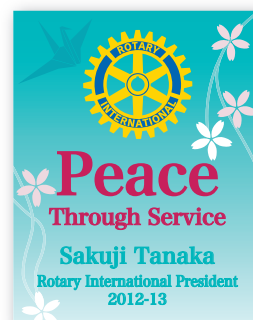


# ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER  
To Rotary club presidents and secretaries



## 足田ガバナー事務所

〒376-0035 群馬県桐生市仲町2-9-36桐生倶楽部内  
TEL : 0277-30-2840 FAX : 0277-30-2841  
E-mail : hikita@rid2840.jp  
URL : <http://www.rid2840.jp>

終 **2013**  
**Vol.13**  
刊号



## Contents

### 1年間のガバナー生活を終えて

ガバナーメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	ガバナースタッフメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・	23
新旧地区役員連絡会議の報告・・・・・・・・・・	3	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
2012-2013年度ガバナー補佐活動報告・・・・	4		



## 1年間のガバナー生活を終えて

国際ロータリー第2840地区  
2012-2013年度

ガバナー 疋田博之

3年前、ガバナーノミニーとなり、エレクトの時代になると安藤ガバナーの仕事ぶりを色々な会議、委員会で見ながら不安な気持ちになり、出来るだけ出席を心がけ、何をすべきか勉強させられました。

そして、昨年1月国際協議会に参加しての1週間、世界中のガバナーエレクト520人余り日本全国からは34人のガバナーエレクトが集まり、全体で、また日本人だけでと目まぐるしく変わりながら研修リーダーのもとで色々指導を受けました。

何か雲をつかむような感じにいる中、松島地区幹事を中心に地区副幹事の皆様の協力を得て、地区の準備が進められ、一方、ガバナー補佐の方々には各分区についてまとめて頂き地区協議会を経て、7月の新年度を迎える事が出来ました。

そして、7月中旬から早い公式訪問を始めて、ガバナー補佐の皆様には早い時期から地区のクラブに回って事前に話し合い等をして頂き、暑い中47クラブの公式訪問を終えることができました。各クラブの会長、幹事、そして多くの役員の方々やロータリアンには色々お世話になりました。大部分のクラブは会員減少に苦慮していました。

今年度の目標であるクラブ活性化のもとになる会員増強は、第2840地区としてはSAKUJI作戦など色々対策をたてましたが、残念ながら達成されませんでした。しかし、各クラブは現在の状況の中でしっかりと親睦を深められ、個々にそして組織として奉仕活動をされているように感じました。クラブの温度差を感じたのも事実ですが、クラブの活性化にはやはり強いリーダーが必要なのだろうと思いました。そして今、当地区でもRLIが導入され、積み重ねられていくことで基礎が出来はじめているのではと感じてきました。

国際ロータリーを見ますと、会員は130万人になろうとしています。530余りの地区に分かれ、ロータリー活動が行われているわけですが、国の事情が異なり、方向付けが難しくなっているように思います。

6月リスボンで開催された国際大会では、色々な活動の状況がみられましたが、皆さん熱心に楽しみ活動しているようで大いに刺激を受けてきました。

今、ロータリーは大きく変わり始めているようです。本田年度ではロータリー財団が大きく変わりました。これからも色々なクラブからの意見が取り上げられ議論され、より良い参加しやすい組織として変わってくるのではと思います。

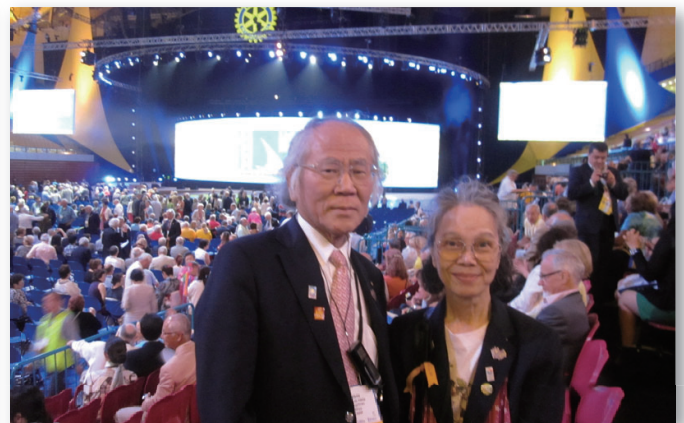
この1年間、ガバナーとして各委員会に参加し、地区協議会、地区大会などで多くの





ロータリアンと交流を深め、全国的にも、また国際的にも、国際協議会、国際大会などへ参加してきました。ポリオプラスのような大きな事業の達成などすべき事はあると思いますが、究極的にはロータリアンが個々にしっかり自覚を持って、職業奉仕、社会奉仕活動をしていくことになるのかと思います。

指導力不足で、この一年、不完全燃焼に終わってしまいましたが、これからも出来ることから何かしていければと思っています。多くのロータリアンに支えられて過ごしたこの一年、色々と有難うございました。



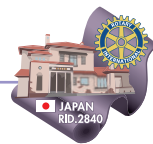
## 表紙によせて

昨年7月から今年6月までの12回にわたってのガバナー月信の表紙の写真は、桐生RCの会員で写真に興味を持っている山崎一順君にお願いしました。前もって準備をして頂き、わざわざ遠くまで撮影に行ってくれたようで、素晴らしい写真を有難うございました。改めて見て頂けるとそのすばらしさが再認識出来るのではと思います。

今回の号外13号の表紙は、自分の思い出の絵画を使わせて頂きました。脳性麻痺のこどもが10代に描いた作品です。自分が小児科医として勤め始めた大学小児病棟のプレイルームに飾られていたもので、原点を見る気持ちで、今日も自分の診療所に飾ってあります。

作者は、中学生頃から画家に興味を持ち、母親の介助を受けながら精力的に非常に集中力がある仕事をこなし、20代に入り50号100号サイズの絵を描き、プロの画家として認められ色々なところで入選し、表彰を受け芸術家年鑑にも名を連ねています。

今も交流を持っていて、作品の一部は桐生駅北口にある桐生市保健福祉会館に飾られています。是非、機会があったら見て頂ければと思います。



## 新旧地区役員連絡会議の報告

地区幹事 松 島 宏 明



2012～2013年度の新旧地区役員連絡会議が、桐生のプリオパレスを会場に行われました。本年度は月末に国際協議会（於：リスボン）が控えていたため、6月15日という比較的早い時期での開催となりました。

連絡会議は正田ガバナーの活動報告に続きまして、8名のガバナー補佐の報告、地区委員長の活動報告へと進んでいきました。報告を聞いていると、事務局からでは見えてこなかった多くの活動があり、そこにはきっと様々な苦労や努力があったことだろうと、今さらながらに気づかされることが多く、繰り返し感謝とお詫びの気持ちが湧いてまいりました。



地区運営の1年間は暗中模索の中でスタートし、たどり着いた地点に今まだゴールは見えていません。もちろん連綿と引き継がれるロータリーの地区運営ということ

からすれば、当然のことかもしれませんが、単年度の活動という面からは反省しきりです。

また最後に資料不備でご迷惑をお掛けした何名かの委員長には、心よりお詫び申し上げ、限りない支援とご協力をいただきました多くの皆様に対し、頼りない足取りでもこの日を迎えられましたことを重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。







## 第1分区 年間活動報告

第1分区 ガバナー補佐  
永井 豊  
前橋南ロータリークラブ

2012年は、ロータリーが国際的（International）な組織になってちょうど100年目。日本人3人目の田中作次R I会長の年にガバナー補佐を拝命しこの1年間ガバナー事務局の足を引っ張りながらも皆様の良きご指導とご協力を賜りながらどうにか終わらせる事ができ感謝申し上げます。

ガバナー補佐として不安な気持ちと義務感をもちながらも、ガバナーと地区クラブとの連絡調整役としてスタートした頼りない私を6クラブ会長幹事の皆様に常にご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げ、一年間の活動を報告します。

2011年

11月 第1回ガバナー補佐会議

2012年

1月 第1回ガバナー補佐・委員長予定者会議

2月 地区研修セミナー

3月 P E T S 会長エレクト・幹事エレクト研修セミナー  
R L I 研修セミナー

4月 第2回ガバナー補佐・委員長予定者会議  
分区内事前会長幹事会  
地区協議会

ロータリー財団ゾーンチーム研修

5月 R L I 研修セミナー

6月 第2回ガバナー補佐会議  
地区ロータリー財団セミナー  
R L I 研修セミナー

7月 ロータリー財団地域セミナー  
会員増強セミナー  
社会奉仕セミナー

8月 女性フォーラム  
ガバナー補佐・委員長会議  
第1分区プロバスクラブ総会



- 9月 米山奨学セミナー  
ライラ研修  
第1分区ガバナー公式訪問随行
- 10月 指導者育成セミナー  
地区大会  
ガバナー補佐・公共イメージ委員会合同会議
- 11月 ロータリー財団委員会  
ロータリー財団補助金管理セミナー
- 12月 青少年交換委員会（クリスマス会）

## 2013年

- 4月 ローターアクト年次大会
- 6月 新旧地区役員・ガバナー補佐・委員長合同会議

他に第1分区の会長幹事会を6回開かれ、また各クラブに訪問させて頂き、大変温かな歓迎をして頂きありがとうございます。

今年度は、ロータリー財団の未来の夢計画、会員増強を進める方法としてSAKUJI作戦が新たに始まりましたが、大したお役に立てなかったと反省もありますが、何とか恙なく職務を全うすることができました。任期終了にあたり大変素晴らしい経験をさせて頂きましたことに感謝申し上げます。一年間誠にありがとうございました。



## 第2分区A 年間活動報告

第2分区A ガバナー補佐  
森 下 正 教  
桐生中央ロータリークラブ

第二分区Aは、ガバナー輩出地区であるので、特にガバナーの意向に沿って活動した。各クラブは、新規事業、継続的事業を、それぞれ特徴をもって遂行した。残念なことに増減0という結果になったが、各クラブは躍動的に活動していた。

### 報告書到着順

#### 1、 2013、5、13 桐生西ロータリークラブ報告

報告事項	<p>1) 新入会員の数 増加(5名) 減少(1名) 増減の結果(増4名) 増員のために取った方策</p> <p>8月の会員増強月間に、会員組織委員会が担当してクラブフォーラムを実施し、全会員に会員増強が急務な事情を切実に訴え危機意識を煽り、協力態勢を築いた。その上で、全会員に新会員紹介キッドを配布し、全会員を6つのグループに分けて、グループ毎に増強活動を行い、進捗状況の報告を行うなどの方策をとった。</p>
	<p>2) わたらせ養護園支援事業・・・・・・・・・・夢計画対象事業予定 (趣旨) わたらせ養護園は、家庭での養育が困難であったり、専門施設で養育した方や有益である障害を持つ幼児対象の施設であるが、小学校を卒業する年齢になっても親が引き取らなかつたり、他の施設へ移れない等で、入園者の高齢化になっている。その為、設備や備品等も幼児対象のものでは対応できなくなるなど、窮状に直面しているため、地区補助金を使用して、食堂の椅子40脚を寄贈した。</p>
	<p>3) 浪江町震災遺児支援事業 (趣旨) 2011年にも東日本震災復興基金を使用して浪江町震災遺児11名に学用品を寄贈した。その継続事業として、三回忌を迎える震災遺児に、お見舞として手紙と文具券をお送りした。</p>
	<p>4) 母子の健康プロジェクト (趣旨) 情緒障害児短期治療施設『青い鳥ぐんま』は、親から虐待を受ける等で情緒障害を負った小中学生31名を預かっている施設です。当クラブは以前にもイルフルエンザ予防接種の為の資金をお贈りするなど支援をしており、今回は健康<u>管理</u>に必要な身長計を寄贈した。</p>
	<p>5) 職業奉仕プロジェクト (趣旨) 毎年恒例の奉仕活動として、大間々高校就職希望生徒さん対象の模擬面接と就職支援講話。施設優良職員表彰。桐生運動公園の早朝清掃奉仕。</p>



## 2、 2013、5、28 桐生赤城ロータリークラブ報告

報告事項	1) 新入会員の数 増加(2名) 減少(0名) 増減の結果(増2名) 増員のために取った方策: 年2回(上期・下期)の例会を増強委員会にて、候補者を募り、親睦活動を通じて獲得する
	2) 赤城RC独自奨学金制度事業 (趣旨) 青少年育成の目的で、独自基金を設け、奨学金を贈呈する。 2012~2013年度 奨学金対象者は6名に授与
	3) 桐生赤城RC杯少年サッカー大会の後援事業 (趣旨) 青少年の健康増進のため少年サッカーを後援した。
	4) 桐生市マーチングフェスティバルの後援、桐生市バンドフェスティバルの後援事業 (趣旨) 青少年の文化的事業を後援した。
	5) 桐生西高校との合同早朝清掃奉仕事業 (趣旨) ロータリアンと高校生の合同で、社会奉仕の一環として、域内の美化に努めている。今年度は、(RC 34名、西高生 119名) 合計153名の参加者で、行った。

## 3、 2013、5、31 桐生中央ロータリークラブ報告

報告事項	1) 新入会員の数 増加(0名) 減少(0名) 増減の結果(0名) 増員のために取った方策 例会で会長が述べ、会員に依頼した。
	2) クラブ運営テーマLove桐生 (趣旨) 各種行事を上記テーマに沿っておこなった。桐生・地元をもっと好きになりましょうを掲げ、事業を行った。大変好評であった。
	3) 青少年育成さつまいも栽培事業 (趣旨) 子供達と保護者そして会員との農業体験を通じて、食育の重要性を体験する事業 次年度夢計画事業一大事業になりました
	4) 桐生中央ロータリークラブ杯 (趣旨) 優勝杯を授与し、ミニバスケットボール・少年サッカー 大会(15回)の目標、張り合いとなっている。
	5) 「赤城の家」の知的障害者とのクリスマス交流会 両施設とも、下記の支援に対して、感謝の意を評している。 (趣旨) 1 社会奉仕活動の一環として知的障害者施設「赤城の家」との交流並びに激励 2 桐育乳児園へお掛け用タオル類贈呈し、施設の支援を行った。

## 4、 2013、5、31 桐生ロータリークラブ報告

報告事項	1) 新入会員の数 増加(1名) 減少(7名) 増減の結果(減6名) 増員のために取った方策 例会において、各会員にて加入見込みのある方を紹介するように依頼
------	--





報 告 事 項	<p><b>2) ガバナー輩出に関する事業</b>          (趣旨) 地区大会を経て、各会員が力を合わせて成功裏に開催することができた。          ガバナーユニット、通常ユニットと両者を作ることによって、結束力が強まったのが、大きな成果となった。</p>
	<p><b>3) クラブ創立60周年記念事業</b>          (趣旨) 記念式典を会員が力を合わせて開催できた。記念誌の発行や寄付行為も良いものができたと、感じている。記念事業を通じて、会員の結束力が高まった。</p>

## 5、 2013、6、3 桐生南ロータリークラブ

報 告 事 項	<p><b>1) 新入会員の数</b> 増加(2名) 減少(1名) 増減の結果(増1名)          増員のために取った方策          体験夜間例会の実施(11月、4月)し、会員に可能性のある方を紹介していただくことで、増強の意識が向上を図った。</p>
	<p><b>2) インターアクト年次大会実施への協力事業</b>          (趣旨) 分科会の設営、担当などを行うことで、IACの生徒との交流を図り、インターアクトの推進を図った。</p>
	<p><b>3) 東日本大震災で桐生市避難者、被災者家族の支援事業</b>          (趣旨) 昨年に引き続き、クリスマス家族会に招待、会員との親睦の中から、精神的支援を図った。</p>
	<p><b>4) 東日本大震災における復興支援</b>          (趣旨)          (1) 「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に協力、上記に協力するために、クラブ内で桜ニコニコ拠金を実施し、会員が協力することにより、桜植樹オーナー基金として送金した。また、「春の家族会」として、いわき市近郊植樹の現地を訪問した。          (2) 「被災地への想いを絵手紙に」として、絵手紙を募集中の支援として、東北被災地へ届ける前に支援の輪を広げるため、市民の方にも見ていただき、その後東北4か所に届け、仮設集会所などに展示していただいた。</p>
	<p><b>5) 会員に対してのアンケート事業</b>          (趣旨) 50周年に向けて、長期計画特別委員会を設置し、アンケートを基に現状を把握し、次年度へ今後の指針として申し送る事を企画した。</p>



## 第2分区B 年間活動報告

第2分区B ガバナー補佐  
藤 生 政 雄  
伊勢崎ロータリークラブ

今年度のR Iテーマ「奉仕を通じて平和を」、地区テーマ「次代を担うこども達に向けて」を大前提として、疋田ガバナーの下、11月4日（土）ガバナー補佐の勉強会が始まりました。

各ガバナー補佐の皆様、地区での経験も豊富でロータリー活動に精通した方々ばかりで、自信に満ちた顔に感じられ、自分もこの人達に果たしてついて行けるだろうか、勉強不足の私としては不安でいっぱいでした。

第1回ガバナー補佐研修会議を皮切りに、その後何回にも渡り勉強会が開催され、「疋田年度」が本格的にスタートしたのを思い出しています。

「疋田年度」の公式訪問は、いつもの年度より早く、就任早々の7月10日より、館林西RCより始まりました。

我が第2分区Bでは、7月26日、群馬境RCより始まるという事で、打ち合わせの為、2回程訪問し、事前打ち合わせの後、現況報告書の提出をお願い致しました。

他の4クラブに於いても、2回3回の打ち合わせ、現況報告書も訪問の10日前までに提出して頂きました。

各クラブの活動を簡単に披露させていただきます。

### 群馬境RCでは、

社会奉仕活動として「障害者更生事業・老人施設への訪問」「私立図書館にある当クラブのロータリー文庫の充実」などメンバーも少ないながら頑張っております。このクラブの特徴として、群馬境RCのオリジナルの歌があることです。

### 伊勢崎南RCでは、

当クラブがインターアクトクラブの提唱クラブであり、市立伊勢崎高校と合同による「緑の羽根街頭共同募金」、「歳末街頭募金」など継続事業として頑張っています。その他、「精神薄弱者更生施設・特別養護学校への慰問」などの奉仕活動を実施しています。

**伊勢崎RCでは、**

委員会事業として、継続的な課題として「東日本大震災の復興支援」を重要課題として捉え、その他積極的な奉仕活動を行っています。

「社会を明るくするパレード」への参加、「広瀬川クリーン作戦」「少年ラグビー大会への支援」など、歴史のあるクラブであり、出席率に対しても常に90%以上を達成している。「ロータリー財団、米山記念奨学などへの寄付」などに対しても毎年積極的に実施しています。

**伊勢崎中央RCでは、**

青少年交換の派遣並びに受入が常に行われています。

継続事業としては、「伊勢崎佐波卓球大会の実施」、「特別養護ホームへの慰問、または寄付金の贈与」、「公共施設へのベンチ並びに車椅子の寄付」など積極的に奉仕活動を行っています。

また、野球部があり全国のクラブとの交流も盛んに実施され、友好を深めているのも伊勢崎中央RCの特徴であります。

**伊勢崎東RCでは、**

事業計画として、継続事業ではRID3820地区（フィリピン）、メトロ・サン・ペドロRCとのWCSプロジェクトを通じ、「フィリピン・ラグナ州近郊施設への浄水器寄贈」、「特別養護ホームへの支援」、「市内小中学校35校への図書寄贈」、「RYLA研修生への支援」など幅広い活動を実施しております。

我が第2分区Bでは、大変多くの地域社会に対しての支援を行っています。

地区大会が、10月13日（土）、14日（日）に桐生で開催され、疋田ガバナーのテーマである「次代を担うこども達に向けて」という事で、第1日目は「指導者育成セミナー」、疋田ガバナー挨拶の後、第1部として、RI会長代理 桑原茂様より記念講演「東日本大震災に想う」というテーマでレクチャーを頂きました。

第2部として、「RLI拡大卒後コース」

セッション1「クラブ戦略計画を推進する」

セッション2「奉仕プロジェクトを創造する」

という事で、指導者育成セミナー第1日目が終了致しました。

2日目は、10時開催宣言より始まり、ガバナー挨拶、RI現況報告、大会委員報告、大会決議、記念事業発表の後に、鎌田實先生による記念講演、各種表彰、ロータリー家族活動報告、最後にRI会長代理 桑原茂様よりの、地区大会講評により無事に2日間に亘っての地区大会が終了致しました。



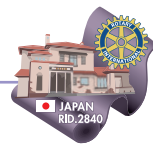


さて、伊勢崎5RC会長幹事会も

第1回が9月26日に開催され、本年度の事業計画について、「5RCボーリング大会」、「ゴルフ大会」、「ロシナンテスの支援事業」についての協議が行われました。第2回が11月29日に開催され、前回の会議で決定している「ロシナンテス補助金申請」、「スーダン共和国カツルーム市内の病院への『携帯型心電計』を寄贈」する事が承認されました。

また、この奉仕プロジェクトについては、5RCが共同して実施する事とし、会員1人当たり1,000円以上の拠出を行い、総予算50万円のうち半額の25万円について（2012-2013年度）のロータリー財団の地区補助金の申請を行うことが確認されました。

そして、伊勢崎RC会員の上武大学前学長 鈴木守さんが4月20日にスーダンに直接持参し、無事贈呈したことが報告されました。



## 第3分区 年間活動報告

第3分区 ガバナー補佐

三井田 賢 一

高崎セントラルロータリークラブ

### 『会員増強について』

クラブ訪問を行いました。R I 会長からの「SAKUJI作戦」につきましては、ほとんど関心がありませんでした。各クラブの会員にお聞きしましたら、(このような状況では、増強は無理です)との回答がありました。一般的にはそれ程活動は無いようでした。

先日、増強のため、候補者と面会を予定いたしておりましたが、その父親から(ロータリーは酒を飲んでばかり)との事で、面談はできませんでした。その方の父親は元ロータリアンとの事、大変残念な思いが致しました。確かに、(我がクラブは親睦を中心に)と公言なさいました会長さんがおりましたことは確かでした。ロータリー活動についての認識が些か相違があるのではと感じられました。

### 『社会奉仕について』

東日本大震災について、ロータリーとして満足のいく活動ができたかと思えます。決してそのような状態ではなかったと思われ。その様な状況でありますから、多くの会員は行動が出来なかったのではと思われ。

ただ、一万円以上の現金を出しただけでは、一般の人でも、また、J C、ライオンズクラブでも、ましては、一般の方々はその以上の活動を行っております。私個人では、災害地に赴き、小さなことですが、単独で行ってまいりました。この体質を根本から変えなければ、先ほど申し上げましたように、新会員の獲得はできないのではと思われました。

魅力あるロータリー活動を行いませんと会員の増強は見られないのではないのでしょうか。

ロータリー活動の第一は、(奉仕活動)と位置づけて我々は行動しなくては成らないと思えます。(ロータリアンが行動するということは、すべて奉仕である)と以前に先輩からご指導が有ったように記憶にあります。ここで全てのロータリアンがこのように理解をしていれば、(会員増強)が思うようにできるのでは無いかなと思われ。

### 『広報について』

我々ロータリアンはなかなか自分たちの活動を宣伝(売り込み)するのが苦手と申しますか、本音では(照れ臭いのか、面倒臭いのか)。自分たちの行動に自信を持って発表して頂きたいものです。

先日、高崎セントラルクラブ、コーラス部で老人施設、授産施設のコーラスの出前を行いました。その事について、マスコミにお知らせを致しましたところ取材が参りました。

小さなこと、些細なこと何でも情報を提供すべきでは無いのでしょうか。

今まで我々ロータリアンは沢山の奉仕活動を行ってきましたが、その情報の提供がなされないため、我々をアピールできなかったのでは、もったいないです。



## 第4分区A 年間活動報告

第4分区A ガバナー補佐  
竹内正幸

年当初の表敬訪問から始まり、第4分区A 5RCの各クラブ5回の訪問を無事果たす事が出来ました。各クラブよりのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐として5RCの現況の所感を述べてガバナー補佐報告とさせていただきます。

### ○太田ロータリークラブ

創立55周年を終え、歴史と伝統に加え若いエネルギッシュな人材と活力がマッチしたクラブであります。

それは品格と秩序ある例会運営に現れている。それはまさに第4分区Aの模範であり、指導的なクラブであります。1989年から設立された奨学育英基金は特筆すべき事業であり、太田RCのもつ職業奉仕の真骨頂であります。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に於いては長い継続事業を時代に即した事業へとみなおしを図りながら事業展開をしている。新世代奉仕については、インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの提唱クラブとして、その支援は絶大なものであり次代を担う子供たちの育成に力を注いでいる。

又、本年度の素晴らしい出来事の一つに会員増強があります。組織・団体にとらわれず、各層・各界より6名の若い会員が入会したことであります。このメンバーをいかに将来の太田RCを担うメンバーとして、育て上げることが歴史と伝統プラス時代にマッチした太田RCとなるものと確信致します。

1. 会員増強
 

2012年 7月1日	63名
2013年 5月末日	69名 増強 6名
2. ロータリー財団への寄付 159,750ドル (一人当たり・ポリオプラス含む)
3. 米山記念奨学会への寄付 17,609円 (一人当たり)

### ○太田西ロータリークラブ

1993年には最大66名いた会員数も年々会員の減少により今年度は16名となりました。会員増強が急務であります。

わんぱくサッカー大会主催、米山記念奨学生受け入れ等、社会奉仕・職業奉仕活動には積極的な事業を展開している。さらには、プロバスクラブの設立とその後の支援は見事なものであります。

1. 会員増強
 

2012年 7月1日	17名
2013年 5月末日	16名 増強 - 1名
2. ロータリー財団への寄付 50ドル (一人当たり・ポリオプラス含む)
3. 米山記念奨学会への寄付 3,093円 (一人当たり)





### ○太田南ロータリークラブ

今年35周年を迎え円熟みを増し、2つの大きな特色を持ったクラブであります。

一つは、姉妹クラブである韓国・東湖RCと通じて1995年以来7回のWCSを成功させたことであり、地区内に於いても突出した国際奉仕事業であり、まさに国際奉仕・世界奉仕の実践であります。

もう一つは、クラブ内に5つの愛好会を設け全会員がいずれかに属し、親睦を図っている。無理のない、会員に負担を掛けない愛好会であり、趣味を通じてクラブのまとまりを作り上げていきます。

1. 会員増強
 

2012年 7月1日	38名
2013年 5月末日	38名 増強 0名
2. ロータリー財団への寄付 112ドル (一人当たり・ポリオプラス含む)
3. 米山記念奨学会への寄付 14,300円 (一人当たり)

### ○新田ロータリークラブ

今年30周年を迎えた26名のアットホームなクラブであります。

台湾・北斗RC、福井南RCの二つの姉妹クラブとの交流を図り、国際奉仕と新田義貞公銅像再建という社会奉仕に活動しています。善行学生表彰・新田暁高校インターアクトクラブの提唱と新世代奉仕活動にも積極的であります。

1. 会員増強
 

2012年 7月1日	26名
2013年 5月末日	26名 増強 0名
2. ロータリー財団への寄付 89.42ドル (一人当たり・ポリオプラス含む)
3. 米山記念奨学会への寄付 13,100円 (一人当たり)

### ○太田中央ロータリークラブ

平均年齢54歳の若く元気のあるクラブであります。

大きな事業として、小学生バレーボール大会の主催があります。通算7回開催し、小学生達の健全育成に多大な貢献をしています。又、東日本大震災に対して会員一丸となり支援活動を行っています。毎月1回の夜間例会は、親睦活動には欠かせない事業であります。

クラブ内に於いて、ロータリー情報の伝達、研修の在り方をもうひと工夫出来れば若い力とロータリー精神が合致し、将来大きなクラブとなりうる可能性を秘めております。

1. 会員増強
 

2012年 7月1日	42名
2013年 5月末日	44名 増強 2名
2. ロータリー財団への寄付 100ドル (一人当たり・ポリオプラス含む)
3. 米山記念奨学会への寄付 9,466円 (一人当たり)



以上、私なりの5RCの所感であります。第4分区Aの全体を見れば合同例会年2回、さらには共同事業として、4年目になりますタオルの福祉施設への寄贈と192名の会員が親睦と奉仕を行っており、まとまりのある分区であると思っております。各クラブとも最大の課題は、会員増強・退会防止であります。クラブ独自の戦略計画を作成し、クラブの活性化を図り、ロータリークラブの素晴らしさを公共イメージと共に地域に発信し、会員拡大に努めましょう。

地区目標に対して、その達成は全てクリア出来たわけではありませんが、各クラブ共会長・幹事を中心に努力した結果であります。更なる努力を心よりお願い申し上げます。

各クラブの益々の御盛會を祈念申し上げ、ガバナー補佐報告とさせていただきます。



## 第4分区B 年間活動報告

第4分区B ガバナー補佐

星野 薫

大泉ロータリークラブ

2011年11月5日、私たち正田年度のガバナー補佐予定者は高崎市のホテルメトロポリタンに召集され、第1回ガバナー補佐会議が行われ、正田ガバナー年度の活動がスタートとなりました。担当する年度は、2012年7月からですがガバナー補佐としての業務が半年以上も前から開始されることに戸惑いもありながらスタートをいたしました。

私たちが担当する年度のR I会長は、日本人として3人目となる田中作次会長です。

国際ロータリーのテーマは「奉仕を通じて平和を、Peace Through Service」であり、奉仕は片手間でやることではなく“奉仕とは生き方だ”と説かれていました。

地球上には、未だに争いがあり、その争いに巻き込まれた国民が貧困そして飢えに苦しんでいます。私たちは、奉仕を優先し人々が抱える困難を深い愛情で人々が幸せになれるよう自分の出来ることをやろうと訴えた年度だったと思います。

第2840地区、正田ガバナーは、国際ロータリーのテーマ「奉仕を通じて平和を」の奥深い内容の中から、あと一步となったポリオ撲滅を今年度中に実現したいとの思いも込め、地区目標を「次代を担うこども達に向けて」とし、こども達の環境や取り巻きを見た時に多くの課題がある、これを少しずつでも改善したいとの思いの年度でもありました。

地区協議会は多くの年度が5月に行われていましたが4月22日と約1ヶ月も早い開催となりました。また、初めての試みとして分科会のやり方もロータリーが大きく変わろうとしている今「国際ロータリーの長期戦略計画」や「ロータリー財団の未来の夢計画」などのテーマに沿って地区協議会参加者全員でこのテーマを協議してみようという事になり分区ごとの開催となりました。

私達の分区では、新しい年度が始まる前に各クラブが毎年作成しています“効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標”を5クラブの状況が比較して解る様に資料をまとめてみましたので地区指示もありましたが、私達の分区では5項目について、参加者のご意見を伺い、他クラブの考え方やクラブ運営の進め方などが解る様な内容とし意見交換を行いました。

しかし、地区協議会参加者の皆さんからは、地区協議会に参加できるメンバーは限られた方々の参加者である事や年度の地区の各委員会が何をやろうとしているのか委員会の方針を協議することが大切ではないかという意見も出されました。

第1回ガバナー補佐会議以降、2012年7月の正田年度が正式にスタートする前に数多くの会合やセミナーが行われましたが特に、安藤年度主催によるRLI研修セミナーは9時登録で17時終了、拘束8時間という長丁場の研修を地区内ロータリアンによる、デスクッションリーダー15名で6セッションのセミナー消化は、過去のロータリークラブの研修にはない緊張の連続で大変な研修会となりましたが、3日間の全工程を無事完遂





された多くの参加者は修了書と終了バッチをいただいた時は笑顔がこぼれました。

私たちの分区活動のスタートは、ガバナー補佐が主体となり2012年6月6日、正田年度の第4分区A Bの新会長・幹事・事務局にお集まりいただきA B別々に分区としての年間計画を説明させていただくと同時に、各クラブの要望などもお聞きしました。

また、新メンバーによる会合が終了した後、A B分区合同で新旧会長・幹事・事務局、新旧ガバナー補佐の懇親会を行い、安藤年度を担当された会長・幹事・ガバナー補佐の皆さんに1年間のねぎらいと、新しい正田年度への励ましや激励をいただく場を持ち、和やかな楽しい時間を過ごしました。

私が担当した第4分区Bは、ガバナー公式訪問が7月11日からという地区では一番早い時期のスタートでしたのでガバナー公式訪問前のガバナー補佐による各クラブ事前訪問の日程調整にも苦労がありましたが、6月中に2クラブ、7月草々に3クラブを訪問し、ガバナー公式訪問前の事前調査結果の作成を行いガバナー事務所へ提出いたしましたが、現況書は正式なものの作成が間に合わずゲラ刷りでの公式訪問となりました。

この1年(実質1年半)、私は手前みそになりますが地区事務所から要請を受けた委員会の会合、研修・セミナーなど、第2840地区内で実施されたものについては、皆勤出来たかなと思っています。

特に、青少年交換関連の会合では若い人たちの考え方や新しい生活姿勢など改めて勉強させてもらい自分自身の気持ちを若返らせる事が出来たと思っています。

また、私が所属するクラブにはインターアクトやローターアクトがありません、ですからこれらの会合への要請については恐る恐る参加して来ました。その結果活動の内容を知ることが出来て大きな収穫だったと思い何でも参加してみる事の大切さを感じました。

しかし、会員増強の施策であった“SAKUJI作戦”については不満足の結果となってしまい大変申し訳なく思っています。

ただ、私が担当した各クラブでは会員増強に向けた闘志を感じる事が出来たので、会員増強に向けた今後の各クラブの取り組みを期待したいと思っています。

“END POLIO NOW” ポリオ撲滅の活動については、遅ればせながらも5月中に全てのクラブが地区から戴いたDVD鑑賞を行いポリオ撲滅活動の最後の重要性を感じ取ってくれたのではないかとと思っています。

つたないガバナー補佐だったかと思いますが、クラブ訪問では、どのクラブでも明るく出迎えていただき楽しいクラブ訪問が出来ました。

第4分区B各クラブのロータリアンの皆さんと事務局の皆さんに感謝、感謝です。

また、正田博之ガバナー、そして正田年度を支えていただきました各委員会の委員長・委員、ガバナー事務所スタッフの皆様、ご支援ありがとうございました。

最後になりますが、私と一緒に正田ガバナー年度のガバナー補佐の任務を遂行いただきました各ガバナー補佐の皆さんご苦労様でした、お世話になりました。

これからも宜しく願いいたします。

2013.5.20.



資料：第4分区B内（一部A含む）の行動日程

### ○ガバナー補佐事前クラブ訪問

クラブ名	訪問日	曜日	例会会場	例会時間	備考
館林RC	2013.7.06.	金	ジョイハウス	12:10～	
大泉RC	2013.6.13.	水	三洋健保センター	12:30～	
館林西RC	2013.7.03.	火	しのずか陣屋	12:10～	
館林東RC	2013.7.04.	水	ジョイハウス	12:30～	
館林ミレニアムRC	2013.6.21.	木	ジョイハウス	12:10～	

### ○ガバナー公式訪問

クラブ名	訪問日	曜日	例会会場	例会時間	例会前懇談時間
館林RC	2013.7.13.	金	ジョイハウス	12:10～	11:30～
大泉RC	2013.7.11.	水	三洋健保センター	12:30～	11:50～
館林西RC	2013.7.24.	火	しのずか陣屋	12:10～	11:30～
館林東RC	2013.9.05.	水	ジョイハウス	12:30～	11:50～
館林ミレニアムRC	2013.7.12.	木	ジョイハウス	12:10～	11:30～

### ○クラブ会長・幹事によるクラブ訪問（メイクアップ）

クラブ名	館林RC	大泉RC	館林西RC	館林東RC	館林ミレニアムRC
館林RC	10/12(金)				
大泉RC		9/19(水)			
館林西RC			11/13(火)		
館林東RC				10/31(水)	
館林ミレニアムRC					10/18(木)

### ○ガバナー補佐クラブ訪問（実施日）

RC \ 月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
館林RC		6, 13			12		21	18			20	
大泉RC	13	11		19				9			10	
館林西RC		3, 24				13			12			21
館林東RC		4		5	31			16			3	
館林ミレニアムRC	21	12		18					24			16

\* 太数字はガバナー公式訪問同行日、当初計画日からクラブ事情で変更した日もあります。

### ○第4分区内年度中の行事

行事名	年・月・日	ホストクラブ
①第4分区B5クラブ納涼例会	2012年08月29日(水)	館林東RC
②第4分区AB10クラブ親睦ゴルフ大会	2012年10月26日(金)	新田RC
③第4分区AB10クラブ親睦ゴルフ大会	2013年04月10日(水)	館林東RC
④館林RC創立55周年記念例会	2013年04月20日(土)	
⑤第4分区B5クラブ合同例会	2013年04月24日(水)	大泉RC
⑥新田RC創立30周年記念式典	2013年05月25日(土)	
⑦第4分区AB10クラブ新旧会長幹事会	2013年06月06日(木)	大泉RC



## 第5分区 年間活動報告

第5分区 ガバナー補佐  
浅川 忠良  
沼田中央ロータリークラブ

年齢の割にはロータリー歴が浅い私が務められるかどうか大変心配をしましたが、皆様方のご指導のお蔭をもちまして何とか終了することができました。

各クラブの皆様方に、深く感謝申し上げます。

特に特徴的な事を報告させていただきます。

### 1. 数値目標について

ロータリー財団・米山奨学金等につきましては、各クラブ共に目標を達成されましたが、会員増強は厳しい状況でした。

新会員を迎えても、それを上回る会員の退会及び死去等で現会員の維持も困難な状況でした。

特に、みなかみクラブは歴史あるクラブであり、一時期は40数名を数えるほどでしたが、ここ十年程は会員数が5名～6名程度の状況が続き、クラブを維持することが困難であるとして、解散の意向が表明されました。

このため第5分区内各クラブに会員の方の紹介をお願いしてまいりましたが、結果として会員増がはかれず、解散は時間の問題と思われまます。

この様な事態になった事に対し担当ガバナー補佐として、深くお詫び申し上げます。

### 2. 富岡製糸の紙芝居について

過日新聞に、世界遺産への登録を目指している富岡製糸をよく知ってもらうために、富岡市内の方々が富岡製糸に関する紙芝居をボランティアで上演しているとの記事が載りました。

野村ガバナー補佐に問い合わせたところ、富岡中央クラブの今井清二郎会員にお願いすれば良い事がわかりました。

早速お願いして沼田中央クラブで上演していただいたところ、極めて好評だった事から、世界遺産登録への後押しの一助になるかと考え、各クラブに紹介させていただきました。

どの程度各クラブから依頼があったかは分かりませんが、特異のこととしてご紹介させていただきました。

### 3. 沼田クラブ所属の今井新地区補助金委員の卓話について

新たに実施されようとしている夢計画について、各クラブから詳細の説明をお願いされたことから、今井委員にお願いをして各クラブでの説明会を実施していただきました。

ご多忙の中、文字どおり手弁当で対応いただきました今井会員に深く感謝申し上げます。



## 第5分区 クラブ訪問状況（平成25年5月15日現在）

クラブ名	訪問月日	依頼事項・協議事項等
渋川	9月13日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼・ガバナー公式訪問打ち合わせ
	10月11日	ガバナー公式訪問
	4月4日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）・さくじ作戦・富岡製糸紙芝居案内
沼田	6月12日	ガバナー補佐就任予定挨拶・協力方依頼外
	7月17日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼
	9月4日	ガバナー公式訪問
	11月6日	卓話（第5分区の現状）・数値目標達成依頼・富岡製糸紙芝居案内
	3月19日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）・さくじ作戦
	4月2日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）
草津	6月14日	ガバナー補佐就任予定挨拶・協力方依頼外
	7月19日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼
	8月9日	ガバナー公式訪問打合せ
	8月23日	ガバナー公式訪問
	2月21日	数値目標達成依頼・さくじ作戦・ガバナー選出の件等
	4月11日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）・さくじ作戦
みなかみ	7月14日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼
	8月1日	ガバナー公式訪問打合せ
	9月6日	ガバナー公式訪問
	2月28日	解散問題
中之条	7月10日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼・ガバナー公式訪問打合せ
	7月31日	ガバナー公式訪問
	10月9日	数値目標達成依頼・富岡製糸紙芝居上演案内・今井新地区補助金委員卓話
	2月19日	数値目標達成依頼・さくじ作戦・ガバナー選出の件等
	4月9日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）・さくじ作戦
沼田中央	8月2日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼・ガバナー公式訪問打合せ
	9月6日	ガバナー公式訪問
	9月20日	数値目標達成依頼・富岡製糸紙芝居上演案内等
	3月14日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）・さくじ作戦
	5月9日	卓話（第5分区の現状）等
渋川みどり	6月19日	ガバナー補佐就任予定挨拶・協力方依頼外
	8月7日	地区重点目標・地区運営方針説明協力依頼
	8月28日	ガバナー公式訪問打合せ
	9月11日	ガバナー公式訪問
	11月27日	今井地区委員卓話・富岡製糸紙芝居案内・目標達成
	4月16日	みなかみ解散問題（会員紹介依頼）・さくじ作戦





## 第6分区 年間活動報告

第6分区 ガバナー補佐

野村 義祐

富岡かぶらロータリークラブ

第6分区 8クラブ会長・幹事様、会員の皆様にはこの1年間大変にお世話に成りました。

又、正田ガバナーを始め、地区のスタッフの皆様にも大変お世話に成りました。

お陰様で、ガバナー補佐の大役を無事に終えられた事につきまして、感謝申し上げます。

さて、この1年間、各クラブへ訪問させて頂きました。主な訪問目的は、ガバナー公式訪問の事前打ち合わせ、地区目標の確認、現況報告書の作成のお願い、公式訪問、新地区補助金の活用、SAKUJI作戦のお願い、群馬テレビCM、地区数値目標達成のお願い等でした。

又、6分区会長・幹事会においても必要事項の説明・お願いをさせて頂きました。特に、新地区 補助金につきましては、職業研修チーム委員長・豊川一男様、新地区補助金委員・村田茂行様をお迎えして、活発な意見交換をさせて頂き、補助金申請にお役に立てたと感じました。

第6分区8クラブは、各クラブとも奉仕活動を主に、大変、活発なクラブ運営を続けられている事を報告させて頂きます。

RLIのDLとして参加させて頂き、大変良い勉強をさせて頂きました。

初めてガバナー補佐を輩出クラブの代表として、大役を引き受けましたが、大きなプレッシャーを感じ、役不足感じながらの1年間でした。関係者皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

第6分区周年事業	15周年	碓井安中ロータリークラブ
	50周年	富岡ロータリークラブ

### 主な活動日程

2012年	11月	第1回ガバナー補佐会議
2013年	1月	第1回ガバナー補佐・委員長会議
	2月	RLI・DL研修会
	2月	地区チーム研修セミナー
	3月	ガバナー補佐・研修委員会議
	3月	PETS・SETS
	3月	RLIセミナー



	4月	第2回ガバナー補佐・委員長会議
	4月	ロータリー財団委員会
	4月	地区協議会
	5月	ロータリー財団委員会
	6月	第2回ガバナー補佐会議
	6月	ロータリー財団セミナー
	6月	第1回6分区会長・幹事会
	6月	ガバナースタッフ合同会議
	7月	会員増強セミナー
	7月	社会奉仕セミナー
	8月	女性フォーラム
	8月	R L I 研修
	8月	第3回ガバナー補佐・委員長会議
	9月	米山奨学セミナー
	10月	地区大会
	10月	ガバナー補佐・公共イメージ合同会議
	10月	R L I DL
	11月	ロータリー財団委員会
	11月	ロータリー財団セミナー
	11月	第2回6分区会長・幹事会
	12月	R L I DL
2014年	1月	新地区補助金審査会
	3月	6分区代表者会議



## 1年を振り返って

地区幹事 松島 宏明 (桐生 R C)

1年というよりエレクト事務所開設以来、その準備期間も入れると2年以上の月日が過ぎたことが、今さらながらに早かったと感じています。

入会以来地区に参加する機会を持たなかった自分が、幹事をする事自体無謀といえ無謀な話でした。しかしエレクト事務所が開設され、実際の動きが始まると、不透明な先行きと、膨大な活動に対して対処することで精いっぱいになっていました。日々振り返ると様々な協力者に助けられながらここまで来たことを痛感させられます。地元桐生に於いては地区協議会を桐生西ロータリークラブと桐生南ロータリークラブに、地区ゴルフは桐生赤城ロータリークラブと桐生中央ロータリークラブにお世話になりました。また地区大会では桐生市内の5ロータリークラブに一方ならぬお世話になりました。十分なお礼も伝えられていないことに、自らのふがいなさを感じております。地区運営ではパストガバナー各位に、また各委員長さんには頼りない運営で大変ご迷惑をおかけした事深くお詫び申し上げます。何はともあれここまでやってこられたことは、周りで支えていただきました、副幹事各位と大縄事務局員にありったけの感謝を込めまして深く深く御礼申し上げます。



## 疋田年度(2012-2013)を振り返って

会計長 山上 達也 (桐生 R C)

この度はロータリー活動について経験も知識もまったく不足している私をRI2840地区会計長という大役に抜擢して頂きまして誠にありがとうございました。当初、地区会計長をやりたいというお話を頂いたときには、私自身その役柄の重要性をまったく認識しておらず、お引き受けした後に諸先輩ロータリアンの皆様のお話を聞いて初めてその重さを知るという頼りなさでした。

そのような中で過去の資料を参考にしつつ2012—2013年度の予算作成にとりかかりましたが、減少する会員数に応じて限られた予算をどのように配分するか、また新しく始まる事業もあり頭を悩ませました。色々な方のご協力を頂いて何とか予算を作成しましたが、各委員会の皆さんには十分な予算を配分できずに心苦しいばかりでした。疋田年度が始まっても予算執行に渋い会計長で申し訳ありませんでした。しかし、委員長の皆様は不満もおっしゃらず限られた予算の中、セミナーを開催するときには参加費を徴収するなどの工夫をして活発に委員会活動を行って頂きました。結果、まだ決算の途中ではありますが、疋田年度の決算も当初私が危惧していたような大幅な赤字は出さずに済みそうです。これもひとえに諸事情をお飲み込み頂いて活動して頂いた各委員長を始めとする会員の皆様のご協力によるものと深く感謝しております。また、事務局の太縄さんには日頃の経理処理から決算のまとめ、また日常の経費節減など大変にお世話になりました。太縄さんの存在なくしては疋田年度の会計は成り立たなかったと感謝しています。

未熟者ながら、皆様のお陰で何とか疋田年度の会計長の役目を果たせそうです。私はこの度初めて地区に出向させて頂きましたが、パストガバナーを始めとする多くの諸先輩方の御訓示を頂いて、いくらかロータリー活動についての認識を深めることができました。この貴重な経験を今後のロータリー活動に生かして行きたいと思っております。誠にありがとうございました。



## 平成24年度を振り返って

地区副幹事 川 村 隆 (桐生 R C)

2012～2013年度は特別に地区内関係会員の皆様にはお世話に成りました。誠に有難う御座いました。特に、担当致しましたR財団委員会の皆様は暖かく迎えて下さり、小生にとりましても身は忙しくも楽しい時を過ごす事が出来ました。是も牛久保委員長はじめ伊能副委員長及び各委員長の皆様の、何とか「未来の夢」に向かって地区内各クラブをより活性させたいという真摯な思いの露が小生に多少降り掛かっていた故かも知れません。結果は皆様もご存じの通り、多くのクラブが補助金を使用し事業を行う事と成り、既に実行が始まりつつあるクラブも有ります。最後に、R財団委員会は牛久保委員長・各委員長は基より多くの委員の方々が2014～2015年度迄継続で任に就くという事を基本としてられる事を申し上げますと共に、方々の更なる御健康・御活躍を祈念申し上げます。

一年間、大変ありがとうございました。

「椿咲くたびに逢いたくなっちゃだめ」 池田澄子



## 平成24年度を振り返って

地区副幹事 坪 井 良 廣 (桐生 R C)

地区副幹事として、IT委員会 ライラ委員会 ローターアクト委員会のお手伝いをさせていただきました。各委員会とも、大変独立心が高く、何もお手伝い出来なかった事が大変うれしかったです。決まった仕事は、地区のホームページの載せ替えですが、6月号は、事務局員の入院で月信が遅れてしまいました。ガバナー公式訪問の同行では、高崎セントラル、大泉、館林、群馬境、藤岡南、藤岡北、高崎セントラル、藤岡、伊勢崎東、館林東、沼田、館林東、高崎、前橋東、高崎南、高崎シンフォニー、碓氷安中と17RCを訪問いたしました。

訪問では、大変いろいろ学ぶ事ができました。例会、拡大、奉仕、事業とメモして来ましたが紙面の都合で、例会と拡大のみ列挙してみます。

例会関係では、席は、くじ引き ABCの札、第1例会では、点鐘後握手、月に1回夜間例会、納涼会はゆかた例会、梅茶 昆布茶 お茶パック ポットにはお湯で選べる、食事は、粗食の日あり、集合写真撮らない、四つのテストの歌、自クラブの歌がある等です。

拡大関係では、拡大はグループに分けて競争で募集、新会員オリエンテーションは、ご婦人も一緒、例会招待状 新入会員を増やす、ロータリー情報3年委員会（新会員の勉強会担当）、例会出席予定表を書かせる（食事と設営に利用 欠席者にはfax送る）等でした。また、同行では、大変に手厚くご接待いただき感謝しております。ありがとうございました。





## 1年を振り返って

地区副幹事 野間 義弘 (桐生 R C)

1年間、多くの事業、会議に参加させて頂き大変ありがとうございました。最初は膨大な資料、超過密なスケジュールを見て驚き、務まるかどうか不安でした。

司会をしたガバナー補佐・委員長合同会議では、毎回、精力的な活動と熱心な討議に圧倒されるばかりでした。

また、地区大会でも多くの方の協力のもと、司会をさせて頂き、緊張の連続でしたが、大変いい勉強になりました。これらの貴重な経験を生かしたいと思います。

これからも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



## 正田年度を振り返って

地区副幹事 堀 明 (桐生 R C)

正田年度では、青少年交換委員会担当の副幹事として指名されました。何も分からず引き受けましたが最初に思った事は、大変な委員会であると後悔してしまいました。

安藤年度より内容を把握する事と勉強の為に委員会に参加し県内 R C より参加している皆さんに大変お世話になりました。委員会の活動は、群馬県内の中・高校生を対象として海外に派遣する事(特にアメリカ)と海外(アメリカ)からの高校生を受け入れる活動をしています。内容が分かった時は、びっくりするやら英語は話せないとどとまどってしまう。

派遣に応募してくる子供達の動機は、英語が話せる様になりたい、英語を使った職業に就きたいとやってくる。しかし目的は、R C 親善大使となって貰う事かなりかけ離れている。しかし、時が進むにつれ子供達の考えが変わって行くのが分かり真剣な姿をみることができ成長していると感じさせられる。自分も年を取り若い時の情熱を忘れてしまっているなあ~と思う。子供達からパワーを貰えた感謝です。

日本の子供とアメリカの子供の派遣交換を行うと言う事は、言葉や文化のまるっきり違う人間を相手にする。委員会の使命は、大変であり情熱と寛容な心が必要であり、大変やりがいのある活動です。その時に感じた事は、自分自身の関わり方一つで自分自身が大きく成長できたり、後悔したりの繰り返しです。子供達から多くのものを学びました。アメリカから帰ってきた子供達をみると感動します。よかったですと思います。

正田年度の青少年交換委員会各位、地区役員各位、県内 R C の皆様には、大変お世話になりました。一年を振り返るにあたり、あらためて感謝申し上げます。そして次年度の地区の発展と皆様のご活躍、ご健康を祈念申し上げます。

思いつくまま感じた事を述べさせて頂きました。一年間ありがとうございました。



## 1年を振り返って

地区副幹事 **本田 雄一郎** (桐生 R C)

一年間という短い間でしたが、副幹事として研修委員会を担当し、地区チーム研修セミナーや地区指導者育成セミナーなどの司会をさせて頂きました。

多くの優秀な地区役員・委員長の皆様の活動を近くで接することができ、自分なりに多くの勉強をさせて頂くことができました。

また、正田ガバナーをはじめ、松島地区幹事、山上会計長、副幹事の仲間には、いつも助けられ大変お世話になりました。

この様な経験を人生に、会社に、そしてロータリーに生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



## 1年を振り返って

地区副幹事 **前 原 勝** (桐生 R C)

一昨年の秋に、松島地区幹事から電話で地区副幹事就任の要請を頂いた時には正直なところ自信がなく、また職業柄でも土日の出席が困難なため一度はご辞退しようかと考えましたが、桐生ロータリークラブからガバナーが就任するまたとない機会ですので何とか少しでも協力しなければと思い、平日中心のお役目ならばとお引き受け致しました。

そうなるに割り当てられたのが「公式訪問担当」となり、かえって大変なことになりました。

正田年度は早々から公式訪問が始まり、また去年は記録的な猛暑の夏となり体力的には厳しいものでしたが、ガバナーのお体を思えばそんなことは言えず、可能なかぎり同行させて頂きました。

実際に地区内の各クラブを訪問してみると、それぞれが個性に溢れ、長所短所を越えて地域に密着した積極的な活動を展開され自分自身がロータリアンとして二度と得られない大変有意義な経験と勉強をさせて頂くとともに、自クラブの運営にも大いに役立つ実践的な情報を数多くご提供頂き、生涯の良き思い出となりました。

最後に、正田ガバナーをはじめ松島幹事、また地区役員各位をはじめ各クラブ会員の皆様のご指導ご協力にあらためて感謝申し上げ、次年度以降の地区役員各位並びに各クラブ会員の皆様のご健勝とご活躍、そして第2840地区の益々のご発展を心から祈念致しまして誠に楚辞ですが退任の挨拶とさせて頂きます。



## 疋田年度を振り返って

地区副幹事 森 末 廣 (桐生 R C)

私の役割は、米山奨学委員会担当副幹事でした。

一年間を振り返りますと、米山奨学委員会の行事が多くて、忙しい日々の一年間だったという感想です。ただ、少しだけ米山奨学委員会のことが理解できました。そして、米山奨学生の活発な行動としっかりした考え方は、私の心に新しい風が吹いたように感動いたしました。

また、米山奨学生選考会では、米山奨学生候補者を緊張させないように、トラブルがないようにと気を使い、大変な思いをしたことを思い出します。

とにかく、一年間大きなトラブルもなく無事に終了してホッとしています。

最後に、米山奨学委員の皆さん、疋田ガバナー事務局の太縄さん大変お世話になりました。また、特に野辺米山奨学委員長には色々な場面で助けて頂いてありがとうございました。



## 1年を振り返って

地区副幹事 鈴木 章 弘 (桐生南 R C)

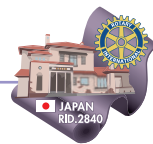
2012～2013年度、第2840地区疋田年度で副幹事として、地区協議会とインターアクトを担当させていただきました。

4月に年度を立ち上げるために重要な地区協議会、7月には青少年の奉仕活動に重要なインターアクトの合同会議、年次大会と行事が続く中、多くのロータリアンのご協力をいただき、無事、行うことができました。

また、3月～4月にかけてはインターアクト海外研修と海外受入れ交流が行われ、担当のローターアン、担当校の顧問先生方、そして研修に参加していただいた多くの高校生の皆さんのご協力をいただき、この行事につきましても無事開催ができ、合わせ御礼申し上げたいと思います。

最後に、至らぬ副幹事ではございましたが、一年間、多くのロータリアンとともに活動ができたことを感謝申し上げます。





## 1年を振り返って

地区副幹事 樋口 一枝 (桐生中央RC)

受付しかしなかった、というより出来なかった副幹事です。一年間ありがとうございました。桐生ロータリークラブの歴史をじっくりと見学させて頂きました。

前年の災害のため、全て自粛ムードだった所為か、正田年度は各委員会の動きが活発で、一斉に花開いた感がありました。

面白い時期に副幹事をさせて頂いた事を感謝いたします。



## 正田年度を振り返って

地区副幹事 渡辺 幸男 (桐生赤城RC)

平成23年2月18日に第一回のガバナースタッフミーティングが始まり、正田年度の準備に入りました。数度の会議の中で自分の担当は地区の記念ゴルフ大会を担当することになり、大変だなと思いました。

そしてさっそく自クラブで会議をして実行委員長をはじめ各委員会を設定し準備をして平成24年9月30日に地区大会記念ゴルフ大会が桐生中央RCと桐生赤城RCで担当し無事に終了することができました。クラブの皆さんの協力のおかげです。

それから正田ガバナー主催で行われたセミナーに参加して大変勉強になりました。

正田年度のスタッフの皆さん1年お世話になりありがとうございました。

## 編集後記

今回、ガバナー月信を一年間担当させて頂き、たくさんの方々にお世話になりました。

月信担当になり、過去のガバナー月信を振り返ってみたところ、大変な仕事を引き受けてしまったと感じました。

正田年度の行事開催を受けて、次号の内容を決め、原稿依頼し、まとめる。単純作業のようですが、常に期日に追われていた事を思い出します。あっという間の一年間でした。月信を担当させて頂き、ロータリーの知識が深まったと感じております。

公式訪問や地区行事でお忙しい中、毎月メッセージを書き上げて頂いた正田ガバナー、表紙の写真を担当して頂いた桐生RCの山崎会員、原稿依頼・校正チェックなどを担当して頂いた事務局の太縄さんに感謝を申し上げます。

そして、一年間、ガバナー月信をお読み頂いた皆様へ感謝申し上げ、御礼とさせて頂きます。

地区副幹事 ガバナー月信担当  
本田 雄一郎 (桐生RC)